

「大滝不動尊天井画」

秋保郷は名取川に沿って仙台平野から山形方面へ向かう最短経路として主要な位置づけとなっていた二口街道(秋保街道とも)の街道筋に発達した町場です。この街道は平安時代、山寺・立石寺を開基した慈覚大師円仁が開いた道ともいわれており、室町時代以降は、塩釜から塩を運んだいわゆる「塩の道」として、また出羽三山(月山)へお参詣する信者が通行した「信仰の道」でもあったという、歴史のある道です。

現在町名となっている「湯元」「境野」「長袋」「馬場」は、秋保郷最西部の集落「野尻」とともに、二口街道筋における宿駅を基礎とした集落です。温泉の町としての印象が極めて強い秋保のもうひとつの地域性、それは円仁縁の場所が多く残る街道の集落の連続性です。いまなお人々を守り信仰を集めている神社や寺を回る御朱印めぐり旅に出かけてみませんか。



秋保 行ってみたい

御朱印とは…

御朱印とは、神仏や社寺名などを墨書で書き、御宝印などが朱印されたものです。

もともとは写経を納めた際の印としていただくものでしたが、現在は参拝した証としてもいただけるようになりました。

近年、大胆かつ流暢な筆使いで書かれる御朱印が、魅力溢れる芸術作品として親しまれるようになりましたが、単なる旅の思い出やスタンプとは違います。

御朱印は御神体や御本尊の分身ですので、大切に扱いましょう。きっと私たちに御加護を与えてくれる宝物になるでしょう。

御朱印めぐり旅

御朱印をいただくために…

- 一、御朱印帳を準備しましょう！
御朱印は御朱印帳に書いていただくものです。事前に準備しておくといいでしょ。初めての方は、秋保神社・慈眼寺・大滝不動堂で販売しています。忘れた場合は半紙に書いていただくこともできます。
- 一、参拝してから御朱印をいただきます！
御朱印は記念スタンプではありません。参拝してから「御朱印所」でいただきます。
- 一、御朱印代を準備しておきましょう！
御朱印をいただいたら、御礼の志(300円以上)をお納めしましょう。
- 一、不在の場合は日を改めて再度参拝しましょう！

行ってみたい 秋保 御朱印めぐり旅

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課(022-399-2111)
秋保市民センター(022-399-2316)

神社や寺院の参拝の証でもある御朱印。秋保でも御朱印をいただける社寺があります。御朱印帳を片手に秋保の神社や寺院を巡り、秋保の歴史を垣間見てみませんか？

掲載されている情報は、平成28年3月現在のものです。

訪れてみたい秋保
秋保二口街道ツアー 62

No.9

